

平成24年度 地域懇談会

**大口町の
コミュニティバスを考える**

平成25年1月作成

**大口町
地域協働部 地域振興課**

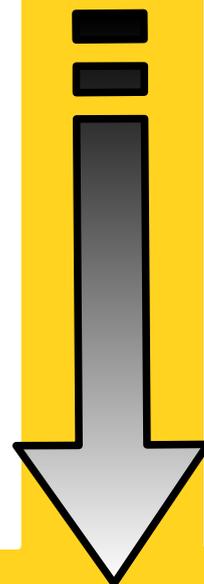
バス運行を始める前は

地域では…

- 公共交通機関がなく不便
- 通勤車両による朝夕の交通渋滞が慢性化
- 生活道路に通勤車両が流入。交通事故の危険度が増加
- 農地が駐車場に

企業では…

- 車通勤者のための駐車場確保が必要
- Nox法への対応（従業員送迎用バスの買い換え）
- マイナスの企業イメージ（最寄駅から、徒歩〇〇分）



コミュニティバスの運行

コミュニティバスの役割

町 民

通勤・通学

生活の足

コミュニティバス

従業員
通勤支援

来訪利便

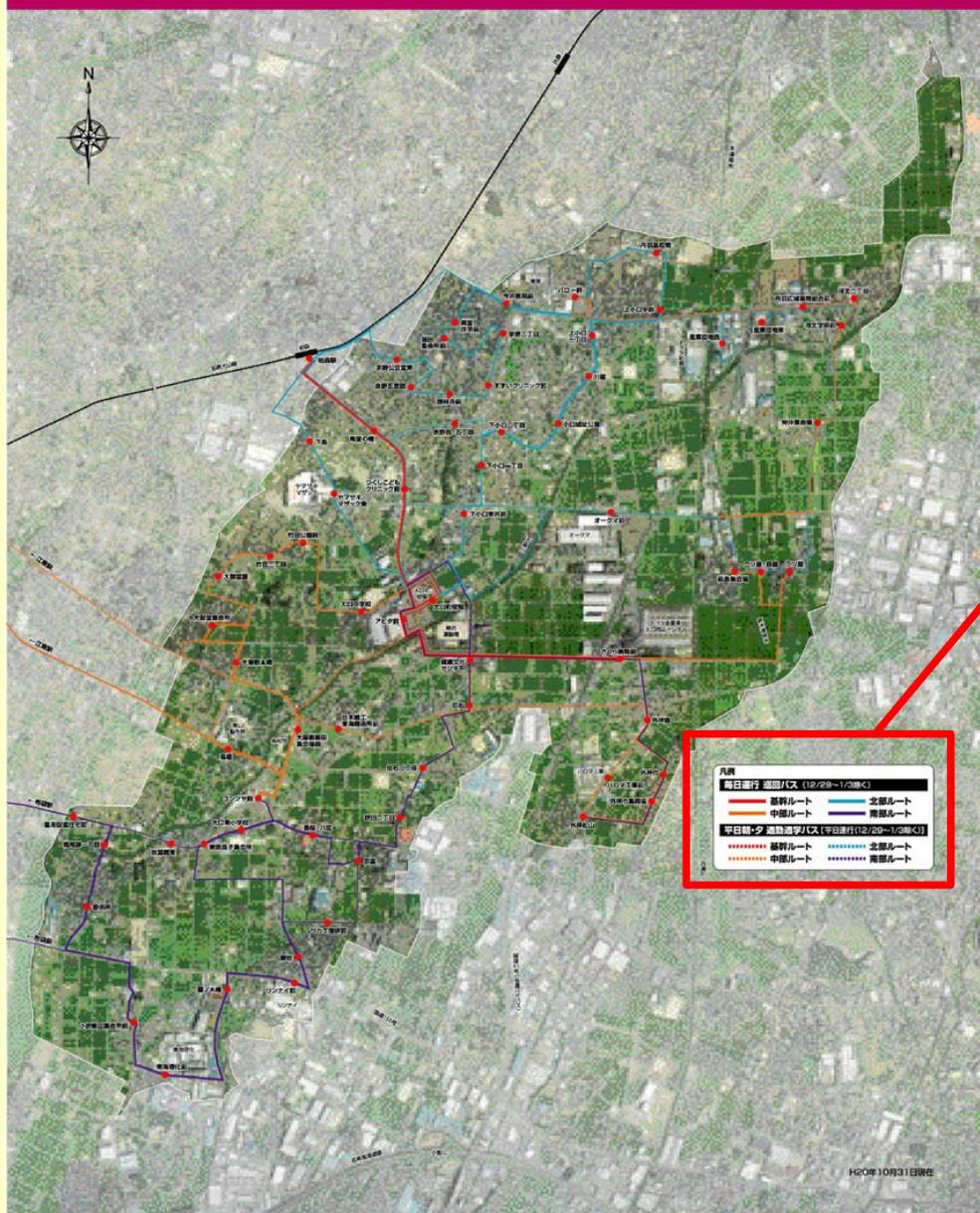
事業所

病院
ショッピングセンター



コミュニティバスの運行システム

大口町 コミュニティバス路線図



毎日運行 巡回バス

- 基幹ルート ■ 北部ルート
- 中部ルート ■ 南部ルート

平日朝・夕 通勤通学バス

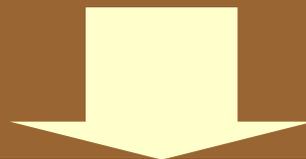
- 基幹ルート ■ 北部ルート
- 中部ルート ■ 南部ルート

■朝のコミュニティバスは…

【地域⇒駅】は乗車 【駅⇒地域】は空車

■朝の企業の従業員送迎バスは…

【会社⇒駅】は空車 【駅⇒会社】は乗車



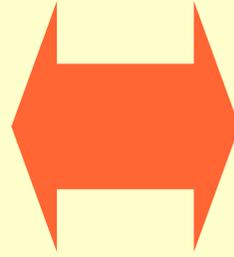
企業と行政が協力すれば、こうした二重構造のムダを省き、相乗効果を生み出せるはず

企業との連携を図る新たな運行システムへ

大口町 (事業の趣旨を説明)

— 企業への提案概要 —

- 企業周辺へのバス停設置
(ルート新設・変更含む)
- ダイヤの変更 (始業時間に対応して)
- 車両更新 (乗車数増加に対応して)
- パスカード (定期券) の発行 (利便性に配慮)
- 有料広告の募集



協力企業 (事業の趣旨に賛同)

— 企業の協力内容 —

- 運行支援費を拠出
(現在10社)
- 有料広告の掲載
(現在33社)



エコ通勤の実践

毎月約5,100人(延べ)の
従業員が利用(平成24年9月)

大口町コミュニティバス 路線図

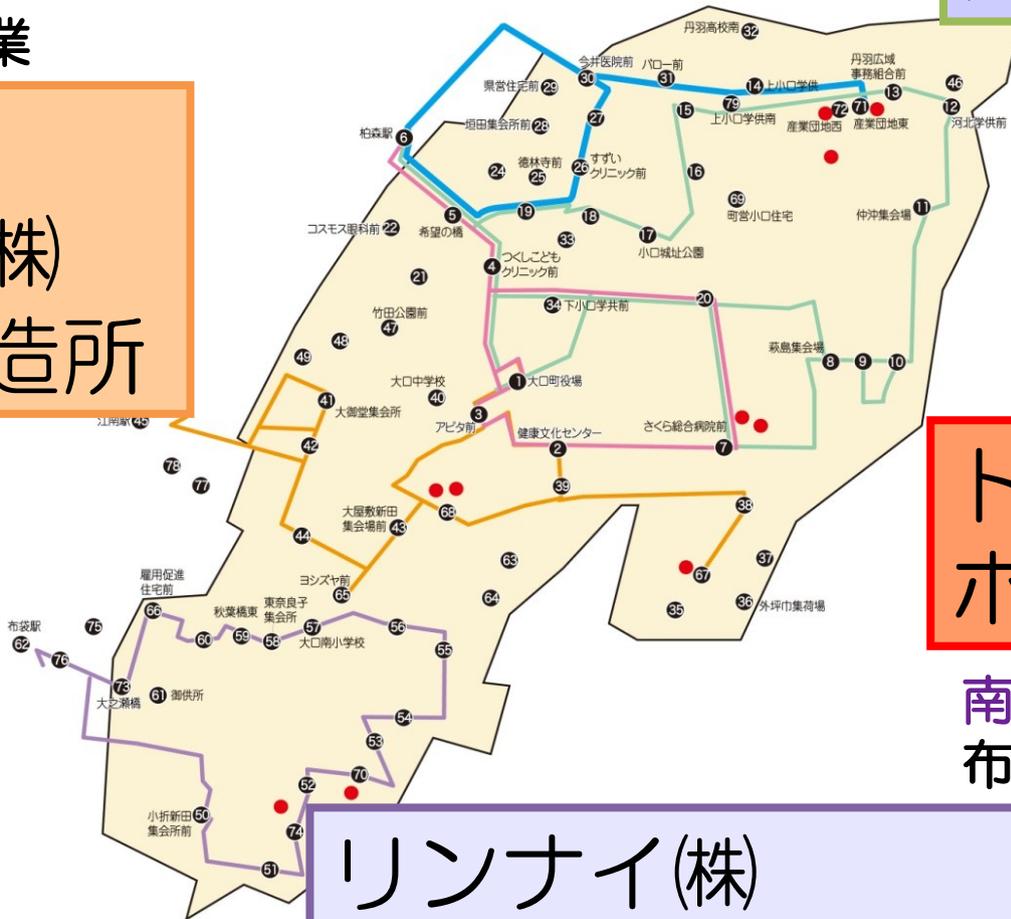
平日 朝・夕運行
通勤通学便

北部ルート
柏森駅⇔企業

象印マホービン(株)
(株)富士エコー
大和グラビヤ(株)

中部ルート
江南駅⇔企業

(株)パロマ
日本紙工(株)
(株)東海鋳造所



基幹ルート
柏森駅⇔企業

トヨタ自動車(株)
ホンダロジコム(株)

南部ルート
布袋駅⇔企業

リンナイ(株)
パナソニックロジスティクス(株)

パスカード（協定締結企業従業員に配布）



提示すれば乗車可能なパスカードを配布

利用料金＝利用者数×運賃×利用日数

広告事業 バス停広告



広告料
月5,000円/箇所
6か月単位

<広告主負担>
広告作成費
屋外広告物許可手
数料(1個900円)



広告事業 ラッピング広告



掲載位置により、大きさ・金額
が異なる。
固定枠、出来高枠がある。

現状の利用者数・事業費は

どうなっているの？



利用者数の状況

	18年度	21年度	22年度	23年度
利用者数	68,248	111,408	117,380	121,561
毎日運行便	47,750	54,141	51,901	53,718
基幹ルート (17)	18,455	16,576	15,635	16,395
北部ルート (9)	13,691	17,759	16,835	18,364
中部ルート (8)	8,245	11,951	12,262	10,652
南部ルート (9)	7,359	7,855	7,169	8,307
朝夕通勤通学便	20,498	57,267	65,479	67,843
基幹ルート (17)	8,901	5,789	8,093	11,311
北部ルート (17)	6,096	18,960	16,536	16,183
中部ルート (5)	1,567	17,341	16,994	17,665
南部ルート (9)	3,934	15,177	23,856	22,684

運行経費の状況

区分		21年度	22年度	23年度
バス運行契約額		54,612,378	54,788,024	56,474,522
内	運賃収入	12,019,300	12,763,700	13,376,300 
	広告収入	2,051,938	2,797,998	2,853,875 
訳	運行支援費	3,879,200	4,480,000	5,170,000 
	県補助金	3,000,000	2,100,000	1,250,000 
	差引町負担額	33,661,940	32,646,331	33,824,347

企業との連携で朝・夕の乗客は増加した。

一方、 昼間の乗客は伸び悩んでいる。



まちづくりと連携した
「バス利用の増加」を目指して

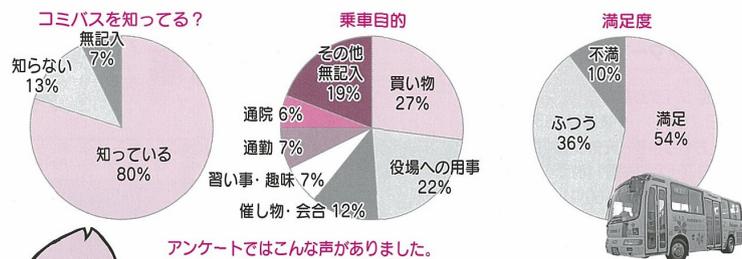
コミュニティバスサポート隊との
連携が始まっています

広報おおぐち25年1月号

シリーズ 17 大口町コミュニティバス について をご紹介します！

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

11月3日・4日のふれあいまつりではたくさんの方々にアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回はそのアンケートの集計結果を発表します。 ※アンケート総数約600(内8割が大口町在住の方)



アンケートではこんな声がありました。

- ① 便数をもっとあるといいな！
- ② バスをもっとかわいく、目立つように！（若い世代からの声）
- ③ 時刻表を携帯で見たい！
- ④ バスを使ったイベントを企画してほしい。

- 桜太朗くん
- ①は、みんなの利用が増えれば便数も増えるかもしれないね。
- ②は、季節に合わせて車内デコレーションを始めました。楽しみにしていてね！
- 桜子ちゃん

③は、携帯サイトがあるよ！QRコードからアクセスできるし簡単だからぜひ見てほしいな。



皆さまの貴重な意見を、できるものから一つ一つ実現していこうと思っています。また、これからのバス運営の参考にさせていただきます。

④は、バスで桜見ツアーや、夏休みの親子向けのツアーも企画してみようかな。

エコモビ表彰を受彰しました

平成24年度「エコモビリティ推進表彰」が11月20日愛知県芸術文化センターでおこなわれ、第1回表彰の3団体中の一つに大口町が選ばれました。

大口町は「企業との連携によるコミュニティバスの運行」が評価されました。これからも、大口町の特徴を活かしながらより一層皆さまに愛されるバスを目指して工夫を続けていきたいと思ひます。



問合せ先 コミュニティバスサポート隊(町民活動センター内) ほほえみプラザ2階
月曜日から土曜日 午前9時から午後4時まで ☎22-6642 メール makasetenet1@yahoo.co.jp

回数券・一日乗車券販売場所
バス車内・喫茶ほほえみ・憩いの四季・御桜乃里・一期一会荘・さくら総合病院・大口町役場会議室

全路線1乗車
100円
小学生以下無料

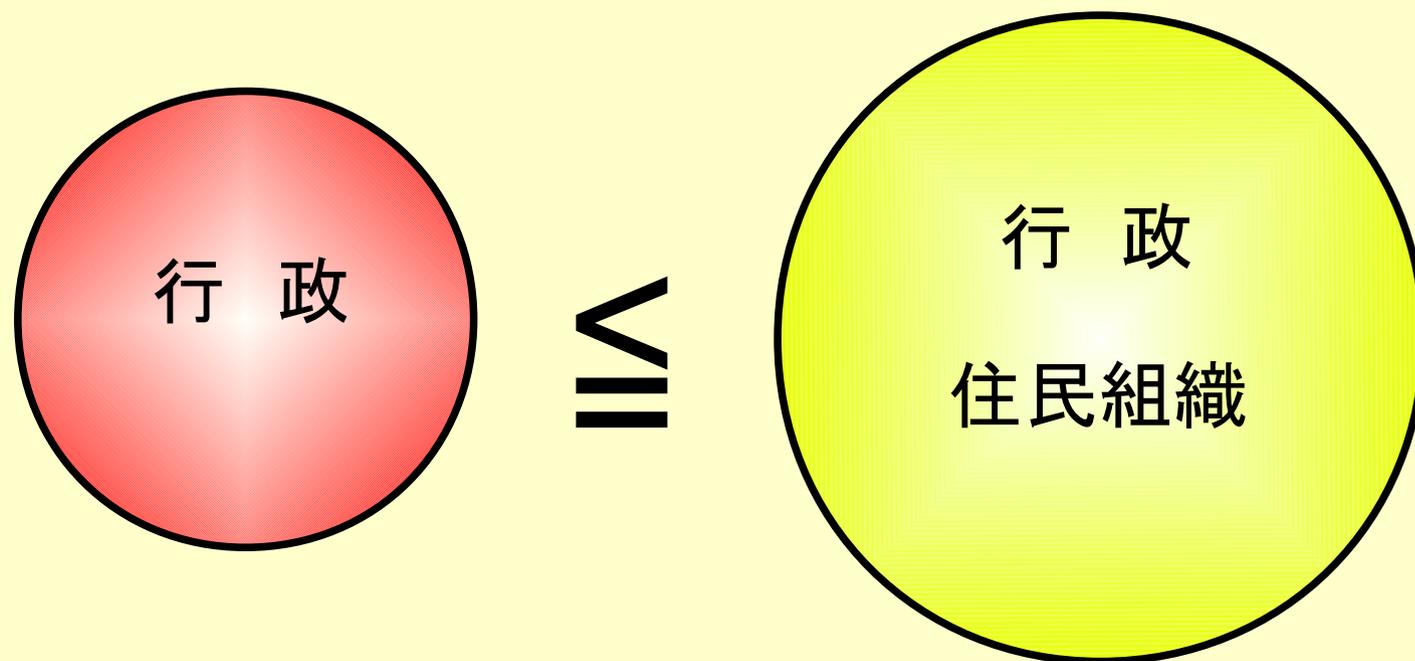


平成24年11月3日・4日
ふれあいまつりにて

バスをもっとかわいく、目立つように
⇒季節に合わせてデコレーション

バスを使ってイベントを企画して
⇒花見や、夏休み親子向けツアーを

目指してきた将来像 公共交通の担い手は外部組織



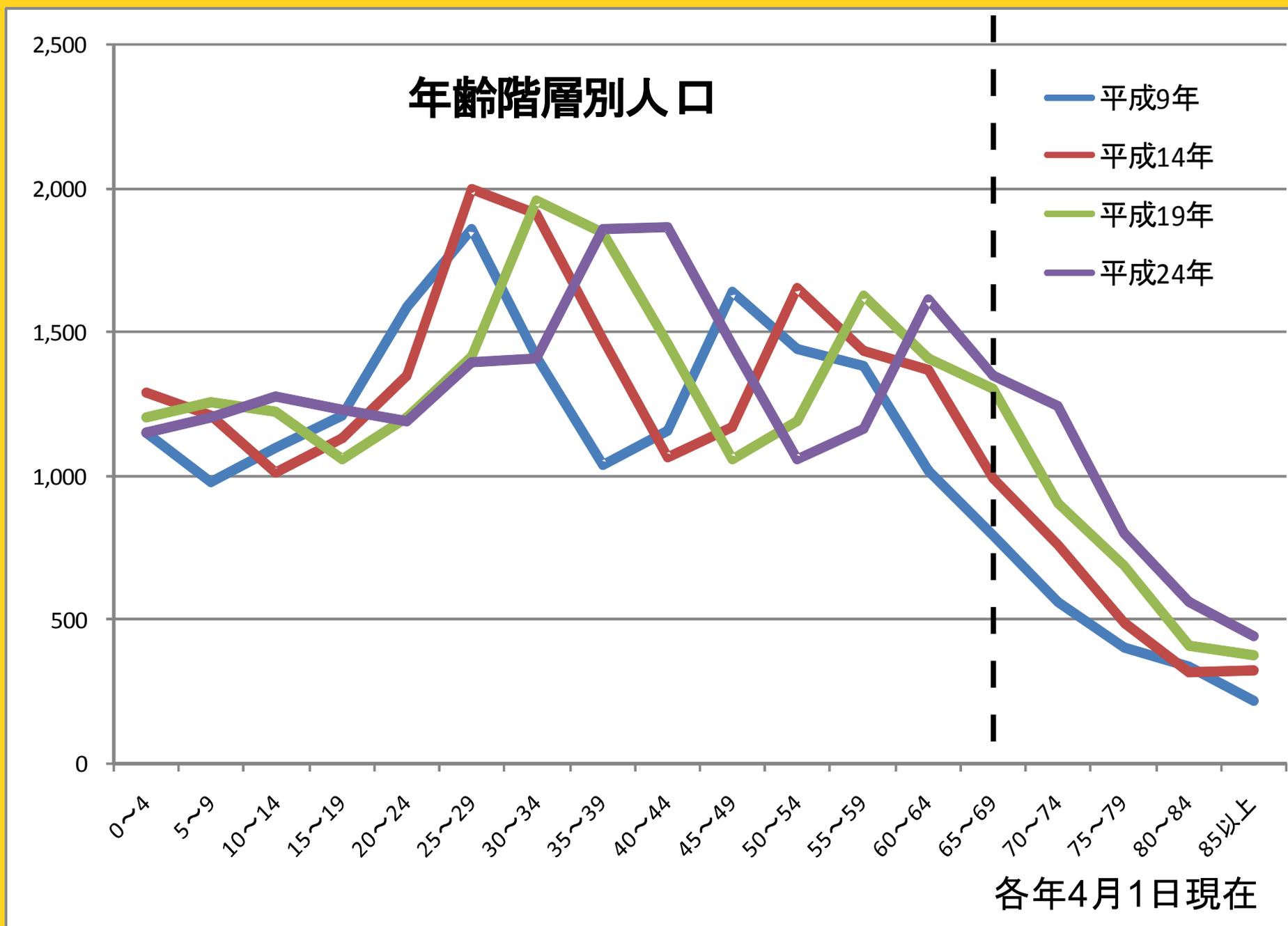
- 柔軟な発想
- サービスの向上
- 住民力が継続性を担保

コミュニティバスの乗客を増やすには、どうしたらいいでしょうか。

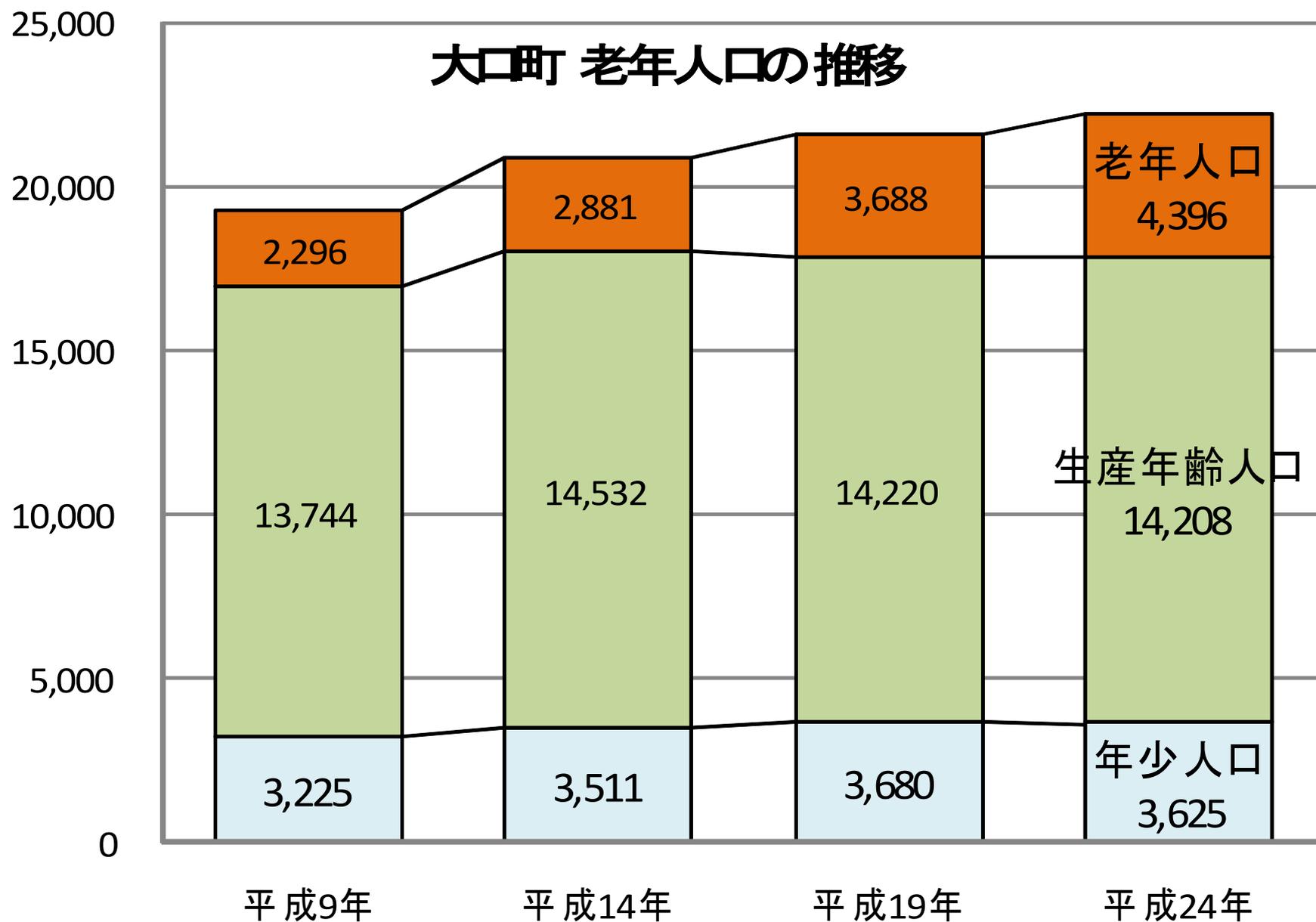


あなたのアイデアを聞かせてください。

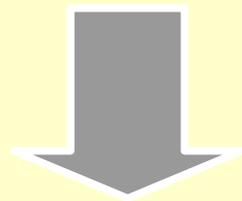
大口町の人口の推移



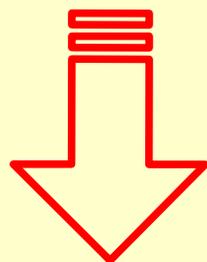
町人口の構成



超高齢化社会へ(バス需要の増加)



より多くのサービスが必要



行政だけで応えるのは困難
⇒地域の課題にも？

要望(議会一般質問)

江南厚生病院までバスを!!

⇒町回答

町単独運行ではなく、広域の中で検討すべきもの。
江南市・扶桑町との共同運行なら協議の対象

コミュニティバスのコンセプト
公共交通機関のない町で、『暮らしの足』を確保する

みなさんのお考えは？

【アンケート】

◎江南厚生病院玄関前(24/10/8.9、総数318件)

- ・大口町居住者 12人、3.8%
- ・交通手段は、自家用車が79.5%(送迎含む)
- ・利用頻度「月1~2回程度」28%、「ほぼ毎日」15.7%

◎エコモビ体験隊アンケート(24/11/8.9.10、総数45件)

- ・改善があれば利用したい 60%前後
(乗り継ぎが多い、待ち時間が長い、便数が少ない)

⇒江南厚生病院へ直行便を

地域公共交通ネットワーク形成支援事業(愛知県委託事業)

【エコモビ体験隊】バスや電車等の乗り継ぎ体験。公共交通機関の利便性向上や利用促進に活用する。

大口町内から江南厚生病院までの3ルートを3日間実施。